

平成27年度(第38期)事業報告

平成27年4月1日から28年3月31日まで

I 事業の状況

郷土おかやまの自然や文化的遺産に対する県民の理解を深め、保護・保全・景観の美化等に努めるとともに、郷土ゆかりの先賢の顕彰と、伝統に根ざした新たな地域文化の創造を目指し、県、市町村、民間団体等と連携して次の事業を実施した。

1 文化財等保護活用事業

(1) 自然保護事業

ア 蒜山タンチョウの里(真庭市)の支援

引き続き運営支援を行った。

イ (公社)日本ナショナル・トラスト協会との連携

全国のトラスト活動について情報収集を行うとともに、行事等の情報提供を行った。

(2) 伝統的工芸品復活・普及支援

備中うるし利活用協議会の事務局として普及啓発事業を支援した。また、“備中漆を守ろう！”募金を継続し、寄せられた3,242,000円(計428件、うち本年度1件 10,000円)を備中漆の復興事業に有効に活用した。

ア 備中うるし利活用協議会

第1回総会 9月25日(金)、第2回総会 3月23日(水)

イ 普及啓発事業の支援

第2回 もっと伝統工芸 備中漆展の共催 9月19日(土)～10月4日(日)

会 場 勝山文化往来館 ひしお

真庭市立草加部小学校5、6年生が総合学習(塩津容子氏、高月国光氏指導)で備中漆を使ったものづくり体験し、その作品を同時展示

(3) 文化財の保護

平成22年度に整備した池田光政公御涼所跡の「甘棠碑と遺愛かんとうのひ 碁碑いあいのうめのひ」及びウメ(花香実)の広報並びに地元町内会等と協働して維持管理に努めた。

(4) 文化財庭園「後楽園」の活用と伝統の維持、普及

伝統的な行事等を行い、岡山後楽園の活用と伝統の維持に努めた。

ア 「岡山後楽園で能をたのしむ会」の開催

会 場 岡山後楽園能舞台 10月3日(土)

番 組 能「敦盛」、「葛城」

出演者 観世流 山崎 浩之、山崎 芙紗子ほか

番 組 狂言「魚説経」

出演者 大蔵流 茂山 千三郎ほか

解 説 京都府立大学教授 山崎 福之

イ 茶つみ祭 5月17日(日) 美作市海田茶摘み踊り保存会

ウ お田植え祭 6月14日(日)

哲西町はやし田植保存会、神代郷土民謡保存会(いずれも岡山県指定重要無形民俗文化財)

エ 観蓮節 7月5日(日)

オ 名月観賞会 9月27日(日)(旧暦8月15日)

カ 初春祭 1月1日(金・祝)～3日(日)

タンチョウの園内散策など、元日は入園無料

キ 田植体験(井田) 6月16日(火) 岡山市立中央小学校5年生

ク 稲刈り体験(井田) 10月7日(水) 岡山市立中央小学校5年生

ケ 造園教室の開催

第1回「後楽園ハナショウブ株分け教室」 6月30日(火)

第2回「落葉樹の葉を使った菜作り教室」 10月6日(火)

第3回「箱庭作り教室」 12月1日(火)

第4回「苔玉作り教室」 2月11日(木・祝)

コ 岡山後楽園夏季夜間特別開園「幻想庭園」－鶴鳴館文化講座 参加者 619人

内田百閒『王様の背中』 みる・よむ・きく

日 時 8月29日(土)

・展 示 10時～20時30分

・朗読会 18時～19時30分 朗読 遠藤寛子氏

会 場 岡山後楽園鶴鳴館

サ 第5回後楽園写真コンテスト～後楽園の光・水・空・風

・募集期間 8月1日(土)～9月30日(水) 応募総数 280点

・表彰式 12月19日(土) 鶴鳴館

・写真展 12月19日(土)～1月11日(月・祝) 鶴鳴館本館

シ キラリ清掃活動 年21回及びキラリ応援隊一日隊 12月6日(日)

ボランティアによる園内の一斉清掃、参加者には後楽園無料入園券を1枚進呈

(5) 後楽園専任ボランティア「後楽塾」11期生の育成

後楽園及び郷土岡山の歴史・文化について学び、その知識を活かしながら、園内ガイドやイベントスタッフとして活動する「後楽塾」11期生を育成し、広く文化財庭園「後楽園」の魅力を発信した。

ア 「後楽塾」11期生の育成

・募集 7月31日(金)～10月13日(火)

・応募人員 14名 (募集 20名程度)

内訳:男性 8名、女性 6名

内、外国語のガイド応募は英語 1・英語、韓国語 1・スペイン語 1

・入塾 11月11日(水) 11名、基礎講座15回及びガイド実習の実施

・出発式 3月18日(金)

11名 内訳:男性 6名、女性 5名、英語・韓国語、スペイン語ガイド各1名を含む。

終了後園内初ガイド、平成30年3月末まで園内及び岡山城のガイド活動を行う。

イ 「後楽塾」9期生(平成25年11月入塾)の卒塾式 3月18日(金)

8名 内訳:男性 4名、女性 4名、英語ガイド 1名を含む。

平成28年3月末までガイド活動、卒塾後全員が後楽園登録制ボランティア「キラリ応援隊」に登録し、引き続きガイド活動を行う。

ウ 10期生(11名)が塾生として活動中 平成29年3月31日までの2年間

(6) 岡山後楽園 延養亭特別公開と園内ガイド

岡山県と共催で一般を対象に特別公開を実施

延養亭の室内と、延養亭に隣接する茶室「臨漪軒」(非公開)の解説を交えての見学会

ア 春の延養亭特別公開 5月25日(月)～31日(日)

午前10時から1日6回 各回30分程度

各回15名(定員に余裕があれば、当日参加申し込みも受入) 参加者 799人

イ 秋の延養亭特別公開 10月26日(月)～11月3日(火・祝)

午前10時から1日6回 各回30分程度

各回20名(定員に余裕があれば、当日参加申し込みも受入) 参加者 967人

(7) 先賢の顕彰

ア 郷土ゆかりの先賢顕彰

岡山県立記録資料館開館10周年企画展「岡山PRIDE ^{プライド} ー医療・教育・文化 挑戦の記録」での生田安宅の資料等の貸出と取材協力、内田百閒についての雑誌等での紹介等

イ 秋の企画展関連イベント 「和文化を楽しむ会」の開催

犬養木堂生家及び木堂塾において「和文化を楽しむ会」を開催し、「犬養木堂」の事績と記念館、生家の魅力発信に努めた。

日 時 10月31日(土) 10時～15時

会 場 犬養木堂記念館内 木堂生家 木堂塾

協 力 投壺と投扇興を楽しむ会、中国学園大学茶道部

ウ 内田百閒の顕彰

(ア) 内田百閒記念碑園(岡山市中区旭川河川広場)の維持管理を行った。

(イ) 岡山後樂園夏季夜間特別開園「幻想庭園」ー鶴鳴館文化講座 内田百閒『王様の背中』みる・よむ・きく(再掲)

みる「百閒文学を彩る谷中安規(版画)装丁の世界」・よむ「『王様の背中』の全編を会場に展示
・きく「展示では『桃太郎』、夕方からは朗読会」で関係資料とともに紹介した。

2 普及啓発事業

(1) 郷土文化講座等の開催

岡山の自然・歴史・文化等について理解を深めるため、岡山の自然・文化・歴史に関する講座を開催した。

ア 郷土文化講座等の開催

(ア) 岡山県立図書館会場

・「世界から見た日本の自然と文化」 1月19日(火)

講 師 波田 善夫(岡山理科大学学長)

参加者 78人(うち会員 53人)

- ・「林原美術館所蔵 石谷家文書について」 2月2日(火)

講 師 浅利 尚民 (林原美術館学芸課課長)

内池 英樹 (岡山県立博物館学芸課主幹)

参加者 76人(うち会員 47人)

- ・「岡山の妖怪たち」 2月28日(日)

講 師 木下 浩 (岡山民俗学会理事)

参加者 42人(うち会員 28人)

- ・「岡山弁再発見」 3月8日(火)

講 師 青山 融 (岡山弁協会会長)

参加者 47人(うち会員 27人)

イ 木堂祭、犬養木堂記念館講演会の開催

木堂祭記念講話 5月15日(金)

演題 「犬養木堂と政治改革」

講師 時任 英人 (倉敷芸術科学大学教授)

その他の催し お抹茶の接待・箏の演奏・生け花の展示

ウ 岡崎嘉平太記念館講演会の開催

「岡崎嘉平太がめざした 世界平和への道を考える」 第十四回講演会

日 時 11月15日(日) 13時30分～16時

会 場 吉備高原リゾートホテル 多目的ホール(きびプラザ3階)

演 題① 岡崎嘉平太先生と外交―「信」と「義」の世界―

講 師 宮本 雄二 (宮本アジア研究所代表、元中国大使、日中友好会館副会長)

演 題② 岡崎嘉平太先生に助けられて

講 師 ケイ ルイン トン ((ミャンマー)シットウェ大学生物学部助教授、岡崎嘉平太国際
奨学財団11期奨学生)

エ 「平成27年度吉備中央町中学生国際交流研修団研修報告会」&嘉あちゃんのふる里 でふれあい座談会

日 時 2月7日(日) 13時30分～

会 場 吉備中央町ロマン高原かよう総合会館

第1部 吉備中央町の中学生8人が中国^{わいあん}淮安市(吉備中央町と周恩来総理のふるさと中国淮安
市は、岡崎嘉平太氏と周総理の友情を縁に中学生の相互交流を続けている。)などを訪問

し、ホームステイなど様々な交流活動を体験し、その研修を通じての学びや想いを発表。

第2部 白髭克浩先生(岡山県立岡山朝日高等学校教諭)をゲストに迎え、お話をうかがったりお茶を飲んだりしながら皆で懇親を深めた。

その他 吉備中央町児童合唱団のミニコンサート

オ 第四回おかやま文化フォーラム 今、中世の実像を求めて 信仰世界の「こころ」と「私たち」 「今、中世の実像を求めて」の開催

主 催 郷土文化財団

共 催 岡山県

後 援 山陽新聞社

日 時 10月24日(土) 13時30分～16時

会 場 岡山県立美術館ホール

基調講演 「中世仏教とその信仰」

平 雅行 (京都学園大学教授、大阪大学名誉教授)

事例発表 「中世吉備における寺社の形成と秩序ー備前国を例にー」

苺米 一志 (就実大学教授)

うらな まじな きとう
「占い、呪い、祈祷するー中世宗教者に求められた仕事」

中田 利枝子 (岡山県立美術館学芸課長)

ディスカッション それぞれの立場から中世の実像について語った。

司 会 久野 修義 (岡山大学大学院教授)

パネリスト 平 雅行、苺米 一志、中田 利枝子

参加者 約170人

(2) 講師派遣等

事務局、犬養木堂記念館、岡崎嘉平太記念館及び岡山県自然保護センター(タンチョウ関係)で講師派遣、出前講座等を実施した。また、「瀬戸内海の環境の保全に関する岡山県計画」の策定にあたって瀬戸内の文化の観点から意見を述べた。

(3) 広報誌「きび野」の発行

年4回発行 A5判 約16ページ 4,500部/回

(4) 財団ニュース「お知らせ」の発行 17回発行 2,300部/回

会員に財団事業の案内等、随時発行・インターネット公開

(5) 現地研修会の開催

郷土ゆかりの自然や文化財等を現地に訪ねて学習するとともに、県内美術館、博物館の優れた美術品の鑑賞会等を開催した。

ア 自然と文化を訪ねるバスの旅

(ア) 中世の港町草戸千軒と鞆の浦を訪ねるコース 5月22日(金)

解説:広島県立歴史博物館、岡野 将士 (広島県立歴史博物館主任学芸員)

中世の集落跡「草戸千軒町遺跡」展示、「尾道・浄土寺の寺寶展」見学、鞆の浦散策

参加者 70人(うち会員 63人)

(イ) 備前♥日生大橋開通記念 日生諸島を巡る現地研修会 9月16日(水)

説明:備前市観光ボランティアガイド協会 片山 伸栄会長ほか4名

備前♥日生大橋見学、船中見学(鹿久居島、頭島、鴻島、鶴島)、大多府島(上陸、島内見学)

参加者 83人(うち会員 74人)

(ウ) 瀬戸内牛窓国際交流フェスタ、朝鮮通信使ゆかりの牛窓を訪ねる現地研修会

11月1日(日)

瀬戸内牛窓国際交流フェスタ(朝鮮通信使行列、ステージイベント)の見学、しおまち唐琴通り、西大寺五福通り等散策

参加者 38人(うち会員 36人)

(エ) 三井造船工場見学と海の近代化遺産をめぐる現地研修会 11月27日(金)

説明:小西 伸彦 (吉備国際大学准教授)、万城 あき (主任研究員)

児島湾干拓の歴史、三井造船の見学

参加者 39人(うち会員 35人)

イ 美術等鑑賞会

(ア) 岡山県立博物館

- ・「岡山を訪れた勤王の志士～久坂玄瑞・桂小五郎・坂本龍馬の足跡～」特別解説会

4月30日(木)

山田方谷宛久坂玄瑞書状、山田方谷宛桂小五郎書状など勤王の志士たちが岡山を訪れたことを示す古文書等を中心に紹介

解説:竹原伸之学芸課長

参加者 49人(うち会員 48人)

- ・岡山カルチャーゾーン設立30周年記念事業 企画展「岡山カルチャーゾーンの魅力」特別解説会

7月30日(木)

岡山カルチャーゾーン(岡山城や岡山後楽園を中心に博物館や図書館などの文化施設が集

まる地域)が名付けられてから30年を記念してゾーン内美術館、博物館等の優品を集め、その魅力を紹介

解説:竹原伸之学芸課長

参加者 44人(うち会員 31人)

- ・ 特別展「発掘された日本列島2015－新発見考古速報－」特別解説会

12月15日(火)

彩色埴輪など近年とくに話題となった各地の発掘成果とその出土品を紹介する全国展示及び邪馬台国と吉備の地方展示、紹介

解説:佐藤寛介学芸員(主幹)

参加者 52人(うち会員 35人)

(イ) 林原美術館

- ・ 特別展「すべて魅せます 平家物語絵巻 PART II 悲運の女性・武将」美術鑑賞会

9月4日(金)

日本で唯一、平家物語の全文章を納めたものとして知られている林原美術館所蔵の「平家物語絵巻」のPART II「悲運の女性・武将」として、妓王や小督といった女性にまつわる悲話や、平敦盛や平教経などよく知られた武将の最期など、平家物語を彩る人物に焦点を当て展示、紹介など

解説:浅利 尚民(学芸課課長)

参加者 50人(うち会員 35人)

(ウ) 林原美術館 企画展「戦陣に舞う揚羽蝶－池田家草創期－」、

岡山県立博物館 岡山・鳥取文化交流事業交流展「鳥取藩池田家三十二万石」2館を巡る特別解説会

2月5日(金)

林原美術館では、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の書状などから、恒興らの武功の数々に迫るとともに、揚羽蝶の家紋をあしらった胴服や鞍など、池田家を象徴する資料も展示、岡山県立博物館では、岡山藩池田家と同門の鳥取藩主たちにゆかりのある甲冑や古文書、肖像画等の資料を通して、江戸時代の鳥取県の歴史について紹介

解説:林原美術館 解説:浅利 尚民(学芸課課長)

岡山県立博物館 解説:内池 英樹(学芸課主幹)

参加者 32人(うち会員 31人)

(エ) 倉敷市立美術館

- ・ 「生誕120年 池田遙邨展－こころの詩(うた)－」美術鑑賞会 10月29日(木)

倉敷ゆかりで文化勲章を受章した池田遙邨(1895～1988)は、日展で活躍した日本画の巨匠でありながら、親しみやすいユニークな作風で知られ、その代表作・初出品作を含む約80点を紹介、その生涯を辿りながら、遙邨芸術の魅力にせまる。

解説:佐々木 千恵 (倉敷市立美術館主任学芸員)

参加者 39人(うち会員 22人)

(6) 印刷物等の作成

財団で収集した資料や開催した講演記録等を編集して配布した。

ア 「岡山の自然と文化」の印刷配布

平成26年度郷土文化講座の講義録No.35を編集、配布した。3, 500部(3月)

イ 「岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える 第十四回講演会講演集」

500部(3月)

(7) 「文化財団の歩み」の編集

引き続き財団発足以来の歴史を編集した。

(8) インターネットのホームページ更新

財団事業の普及を図るため、ホームページの充実を行った。

(9) 内田百閒及び生田安宅(医学者)資料の保存、公開

遺族などから寄贈された内田百閒及び生田安宅ゆかりの品々を保存、資料提供した。

(10) 財団収集資料の公開

引き続き、収集資料の寄託による公開等を行った。

ア 植物関係図書・文献の整理公開

・植物研究者難波早苗氏から譲渡された資料(書籍約5,300冊、雑誌約7,000冊)を県立図書館に寄託

・植物標本(約3,300点)を岡山県自然保護センターに寄託

イ 郷原漆器資料の公開

財団が郷原漆器復活のために収集した郷原漆器(約60種類、約700点)を岡山県立博物館に寄託

ウ 郷土画家の秀作の公開

財団が購入及び寄贈を受けた郷土画家の秀作(6人、10点)を岡山県立美術館に寄託

(11) 資料収集・調査研究

文化財等や先賢に関する資料の収集、保存を進めるとともに、その成果の活用に努めた。

ア 内田百閒関係資料

高月三世子氏から寄贈 きたむらたけのり 弟子北村孟徳氏旧蔵資料

イ 生田安宅関係資料

岡山大学医学部から生田安宅肖像写真を移管(8月21日)

イ 生田安宅関係資料

ウ 犬養木堂関係資料

- ・田代 勤氏から寄贈 犬養総裁推薦状・
- ・辻智子氏から寄贈 小田県地券局ノ構成
- ・吉岡節子氏から寄贈 木堂書額
- ・藤原祥男氏から寄贈 木堂書色紙(印刷)、重午書
- ・金光桂子氏から寄贈 木堂書簡、写真ほか
- ・渋谷和氏から寄贈 木堂写真、木堂関係書籍ほか
- ・佐藤豊行氏から寄贈 書籍「岸田吟香と明治岡山の新聞人」
- ・大月基司氏から寄贈 木堂書額
- ・石田朋一氏から寄贈 木堂書額
- ・則井保博氏から寄贈 木堂書色紙(印刷)、書籍「岡山県選挙資料集」
- ・犬養拓、麗子氏から犬養康彦氏遺品の寄託、寄贈を受け、現在整理中

エ 岡崎嘉平太関係資料

- ・黒木仲一氏から寄贈 岡崎嘉平太からのはがき
- ・石野栄助氏から寄贈 精義塾機関誌「精義」
- ・石井浩太郎氏から寄贈 岡崎嘉平太からのはがき
- ・大久保勲氏から寄贈 岡崎嘉平太からのはがき等
- ・安田佳三氏から寄贈 中国関係の書籍、岡崎嘉平太と周恩来総理の写真等
- ・則井保博氏から寄贈 岡崎嘉平太夫人時子から贈られた書額(馬光兆)

3 地域文化振興事業

(1) 演奏会等の開催

日 時 11月23日(月・祝) 14時～16時

会 場 新見市哲多総合センター大ホール

内 容 倉敷管弦楽団による演奏

チャイコフスキー作曲、バレエ音楽「白鳥の湖」(6曲・抜粋)、

ドヴォルザーク作曲、交響曲第9番ホ短調「新世界より」等

参加者 約340人

共 催 哲多町文化協会・新見市哲多総合センター公民館事業実行委員会

(2) 伝統的工芸品保存事業

岡山県指定重要無形民俗文化財（民俗技術）に指定された郷原漆器展示即売会
「おしらせ」等による広報面での支援を行った。

期 間 1月15日（金）～21日（木）

場 所 倉敷天満屋4階美術画廊

期 間 3月23日（水）～29日（火）

場 所 岡山天満屋5階画廊アートスペース

(3) 各種団体との共催事業等

ア 第30回「下津井節全国大会」の共催

開催日 9月26日（土）・27日（日）

会 場 倉敷市児島文化センター

主 催 下津井節振興会、児島瀬戸大橋まつり振興会

イ 平成27年度「岡山県自然保護センター写真展」の協賛

募 集 4月1日（水）～11月20日（金）

28年中に岡山県自然保護センター、環境学習センター「アスエコ」（岡山市北区下石井2丁目）、モンベル岡山店（岡山市南区下中野）、操山公園里山センター（岡山市中区沢田）で展示

主 催 岡山県自然保護センター、公益財団法人岡山県環境保全事業団

ウ 後援

「第70回春の院展・倉敷展」ほか64事業

(4) 郷土文化財団会員作品展の開催

県内各地で様々な文化的創作活動が促進されるよう、財団会員により制作された絵画や写真等の作品を紹介する展覧会を開催した。

会 場 岡山県天神山文化プラザ

会 期 6月16日（火）～21日（日）

出 品 120点（絵画78点、写真39点、タペストリー等3点）

関連イベント 平成26年度の財団事業報告のパネル展示

入場者 1,417人（対前年度 373人増）

(5) 苗木配布事業

古くから親しまれてきたサクラ・ウメの苗木を市を通じて地元コミュニティに交付した。

- ・真庭市 大山桜ほか 1, 100本

植栽場所 真庭市蒜山上福田(川上小学校横のテニスコート跡地)

(6) 「みんなの心に」について

CDについて3月1日(火)から岡山県庁売店(生活彩家 岡山県庁店:(株)ポプラ)で販売

4 受託事業

(1) 後楽園の管理運営

「後楽園」の管理を県から受託し、実施した。

- ・夜間特別開園「幻想庭園」 8月1日(土)～31日(月)
- ・夜間特別開園「秋の幻想庭園」 11月20日(金)～29日(日)
- ・冬の和のおもてなし 12月23日(水)～27日(日)
- ・タンチョウの園内散策 9月13日(日)、20日(日)、10月4日(日)、18日(日)、11月1日(日)、8日(日)、12月13日(日)、23日(水・祝)、1月1日(金・祝)、3日(日)、2月7日(日)、14日(日)
- ・春の和のおもてなし 3月26日(土)～4月2日(土)

(2) 自然保護センターにおけるタンチョウ飼養管理及び傷病鳥獣の保護、入園者に対するガイド・指導等

(公財)岡山県環境保全事業団から受託し、実施した。また、真庭市での蒜山タンチョウの里(25年3月オープン)の運営を支援した。

(3) 犬養木堂記念館、生家の管理運営

先賢を顕彰するため指定管理者として記念館、生家の管理運営及び資料収集整理並びに企画展等の業務を実施した。

ア 第21回 犬養木堂顕彰児童生徒書道展 4月1日(水)～5月6日(水)

特別賞 25点 入賞 412点 入選 708点

イ 木堂祭 5月15日(金) 記念講話等(再掲)

ウ 犬養木堂記念館所蔵 一品展27 5月30日(土)～6月28日(日)

展示品 木堂が57歳の時に犬養家の系統や父祖のことを子孫へ伝えるために記した「家記大要」を展示し、全文をパネルで紹介

- エ 夏の特別展「木堂さんと選挙」 8月1日(土)～8月31日(月)
普通選挙の実現に貢献した犬養木堂の選挙に関する当選承諾書、犬養毅事務所看板等の資料を
展示し、木堂の時代と現在の選挙制度を比較、紹介
- オ 秋の企画展「犬養木堂と逋信」 10月10日(土)～12月6日(日)
関東大震災直後の第二次山本権兵衛内閣及び普通選挙法公布やラジオ放送が開始された第1次
加藤高明内閣で逋信大臣を務めた木堂の活動を写真、書簡、書類や書籍などで紹介
- カ 「和文化を楽しむ会」 10月31日(土)(再掲)
- キ 新春特別陳列「木堂の扇」 1月6日(水)～2月8日(月)
木堂の年賀や元旦の書、揮毫した扇子や扇面を紹介
- ク 犬養木堂記念館所蔵 一品展28 1月23日(土)～2月22日(月)
展示品 木堂還暦の年(大正4年:1915年)に息子 健に王陽明の言葉を書きおくれた書(初公開)
や同年、娘 信に書きおくれた「木堂還暦記念の書」
- ケ 第22回 犬養木堂顕彰児童生徒書道展作品募集、審査表彰
表彰式 2月27日(土) 特別賞 25点 入賞 412点 入選 980点
- (4) 岡崎嘉平太記念館の管理運営及び資料収集整理並びに企画展
先賢を顕彰するため指定管理者として記念館の管理運営、資料収集整理並びに企画
展等の業務を実施した。
- ア 第9回「嘉平太が愛したふるさと岡山 心なごむ風景 写真展」
・岡崎嘉平太記念館会場 5月2日(土)～7月4日(土)
・岡山県天神山文化プラザ会場 7月21日(火)～26日(日)
- イ 秋の特別企画展「岡崎嘉平太の遺品にみる中国文化」
9月22日(火・祝)～12月27日(日)
- ウ 「岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える」 第十四回講演会(再掲)
- エ 吉備中央町内の小学生の優秀作品図画展 1月16日(土)～25日(月)
- オ 「平成27年度吉備中央町中学生国際交流研修団研修報告会」&嘉あちゃんのふる
里でふれあい座談会(再掲)
- カ 第8回嘉平太が愛したふる里の子ども作品展 2月26日(金)～3月6日(日)
町内の小学校10校の6年生89名による絵画、書道等の力作を展示
- キ 「岡崎嘉平太記念館だより」の発行(7月・1月)

(5) 第十三回 岡山県「内田百閒文学賞」の募集等

文学賞作品募集等に関する業務を県から受託し、作品募集等の企画・運営を行った。

- ・運営委員会 6月11日(木)開催 募集要項等の決定
- ・募集期間 7月21日(火)～平成28年5月31日(火)
- ・最終審査員 小川洋子、平松洋子、松浦寿輝(新)
- ・応募作品 3月末現在 49編